

— 分団長インタビュー —



第4分団 分団長
くどう まさひろ
工藤 正広さん

野球人生50年、現在は500歳野球でプレーする傍ら五城目野球スポーツ少年団で活躍する孫の成長を見ることが一番の生きがいです。

30歳の時に当時の第4分団長の強い誘いがあり、五城目町へ何か恩返しがしたいという一心で消防団への入団を決意しました。第4分団員の人々と家族ぐるみの付き合いを通じて得た団結力をもとに33年間実災害に立ち向かって参りました。

今後は分団長として統率を担う責任感と分団員の負担軽減に気を配り、地域に密着した消防団活動と新入団員確保への熱い想いを信念に邁進していく所存です。

— 消防庁長官賞を受賞 —



危険物安全週間に合わせて、危険物の保安に対する意識の高揚と啓発を推進するために行われた「令和6年度危険物安全週間推進標語」の募集において、全国から応募された1万点以上の作品から、当消防本部の青木佑消防士長の作品が見事、最優秀作に選ばれ消防庁長官賞を受賞しました。

— 受賞作 —

次世代へ

つなごう無事故と

青い地球(ほし)



— 五城目町の救急・火災件数 —



〔 救急件数 〕		〔 救急種別 〕 (1月～3月)		〔 傷病程度 〕 (1月～3月)		〔 火災件数 〕	
1月	46件	急病	99件	軽症	58.1%	1月	0件
2月	37件	一般負傷	19件	中等症	31.6%	2月	0件
3月	50件	交通	10件	重症	8.5%	3月	0件

～編集後記～

春の人事異動に伴い、消防広報誌の編集委員にも異動がありましたのでこの場をお借りして紹介いたします。今年度は消防広報誌編集委員会の強化を図るため、総務係、予防係、警防係、救急救助係の各係から副委員長と委員を選出し、委員長を担うことになりました私、松橋を含め、昨年度から2名増の9名体制となりました。9名で力を合わせて、町民に親しみやすい広報誌を作っていきたいと思ひます。これからも消防広報誌「砦」をよろしくお願ひいたします。(松橋正浩)

